

おはなしだより 1月

<年長>

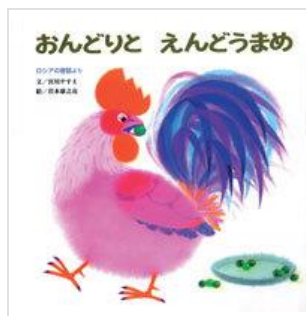
おんどりとえんどうまめ

作: [宮川やすえ](#)

絵: [岩本 康之亮](#)

出版社: [ひさかたチャイルド](#)

えんどう豆をのどに詰まらせたおんどりさんを救うため、みんなの力を借りにあちこち走りまわるめんどりさん。楽しいロシアの昔話をもとに絵本化しました。



紙芝居 てんぐのかくれみの

脚本: [常光 徹](#)

絵: [長野 ヒデ子](#)

出版社: [童心社](#)

てんぐをだまして、かくれみのを手にいれた彦一は、姿をけして、あちこちでいたずらをします。ある日、みのが燃やされますが、彦一が、かくれみのの灰をかぶると……思った通り、姿がきえたのです！熊本県に伝わる有名なとんち者、彦一の話をもとにしています。

<年中>

こんにちはたまごにいちゃん

作・絵: [あきやま ただし](#)

出版社: [鈴木出版](#)

たまごの殻の中に入ったままで過ごしているたまごちゃんは、どうやって“たまご「にいちゃん」”へと成長していったのか…。その心の変化が、あきやまただし流のユーモアたっぷりの切り口で描き出されます。ページの隅々まで見どころ満載の一冊です。



おだんごぱん

作: [\(ロシア民話\)](#)

絵: [脇田 和](#)

訳: [瀬田 貞二](#)

出版社: [福音館書店](#)

ロシア、というよりヨーロッパの最も代表的な民話です。かまどからとびだしたおだんごぱんは、おじいさん、おばあさんや動物たちから、次つぎとうまく逃れてゆきますが……。

<年少>

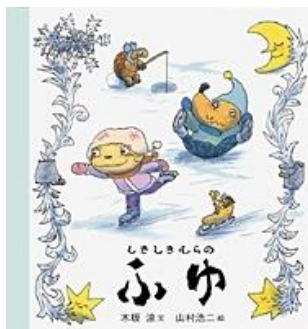
しきしきむらのふゆ

作: [木坂 涼](#)

絵: [山村 浩二](#)

出版社: [岩波書店](#)

ふゆのかぜは つめたいよ／びゅうびゅう ひゅうひゅう
くちぶえふくよ——しきしき村は、あたりいちめん雪景色。イヌ、ネコ、カメ、カタツムリの4人組も、帽子やマフラーをつけて豪快にあそびます。大小さまざまな雪だるまをつくったあとは、甘いおしるこ！ 夜の雪原をゆけば、あっとおどろく冬の星座があらわれます。



にわとりこつことソーセージ

作・絵: [篠崎 三朗](#)

出版社: [至光社](#)

おじいさんとおばあさんと雄鶏と雌鶏とソーセージが仲良く暮らしていました。ある日、家出したソーセージたちは狼に襲われ…なんと！ 空を飛んで旅することに。